

エコアクション21に取り組んでの成果



大金興業株式会社
代表取締役 大野 光政

2013.7.26

まずは弊社の自己紹介

1. 事業所名 大金興業株式会社
2. 所在地 千葉県千葉市緑区誉田町3-78
3. 創業 1961年9月1日
4. 事業規模 資本金 2,000万円
売上高 4億5,875万円 (2012年10月度)
従業員数 37名 (2012年11月1日現在)
5. 事業内容
 - ・建設工事業 (新築工事、リフォーム工事)
 - ・建築士事務所
 - ・宅地建物取引業
 - ・ビルメンテナンス業 (貯水槽清掃・排水管清掃・浴場衛生管理)
 - ・産業廃棄物／一般廃棄物収集運搬業 など



どうしてエコアクション21に取り組んだのか

- 斜陽産業の「汲み取り業務」
 - 平成24年度末現在 接続率99.0%
 - 「ビルメンテナンス業」「建設工事業（リフォーム）」を中心に、経営多角化
 - 浄化槽保守点検や断熱工事といった、環境業務に携わっている割に、環境経営に踏み込めずにいた。
 - 漠然とした将来への危機感があった。
- 建設系産業廃棄物が増え、処理費用が増大
 - 自社で産業廃棄物収集運搬業をやっているが、汚泥・廃油がメインで、建設廃材はほぼ外注であったため、ノウハウが少なかった。



エコアクション21認証・登録に向けて

2010年4月 認証・登録を決意！

2010年7月～10月 準備期間として活動スタート

- 目標の設定と、課題の洗い出しに悪戦苦闘
- PDCAサイクルのクセをつける
- 記入しやすいシートの作成

2010年12月 書類審査

2011年1月 現地審査

2011年3月7日 エコアクション21認証・登録

2012年2月 中間審査

2013年2月 更新審査



環境方針

地球温暖化等の環境問題に取り組み、「住まいと環境を守る」という社会的責任・使命を達するため、組織を挙げて取り組み、環境経営を構築・運用していきます。

大金興業では全社員が一丸となって、環境負荷の低減、環境保全活動の推進のため、以下の通り「行動指針」を策定します。



環境方針

地球温暖化等の環境問題に取り組み、「住まいと環境を守る」という社会的責任・使命を達するため、組織を挙げて取り組み、環境経営を構築・運用していきます。
大金興業株式会社では全従業員が一丸となって、環境負荷の低減、環境保全活動の推進のため、以下の通り「行動指針」を策定します。

【環境保全への行動指針】

1. 関係関連の法令ならびに規則を遵守し、当社が同意した事項を遵守します。
2. 環境負荷の低減・削減のため、次の事項に取り組みます。
 - ① 省エネルギーの推進、化石燃料の利用低減ならびにCO₂の削減
 - ② 施主・発注主に対する環境に配慮した施工方法、商品の提案
 - ③ 資材等のグリーン購入
 - ④ 建築副産物の抑制とリサイクルの推進
 - ⑤ 化学物質の適正管理
 - ⑥ 節水への取組・推進
3. 環境目標を定め、定期的に達成状況のチェックと、目標値の見直しを行い、継続的改善に努めます。
4. この環境方針、行動指針を全従業員ならびに関係業者に周知し、組織的な環境経営を進めます。

2010年6月22日制定

大金興業株式会社

代表取締役 大野光政

行動方針

- 1. 環境関連の法令ならびに規則を遵守し、当社が同意した事項を遵守します。**
- 2. 環境負荷の低減・削減のため、次の事項に取り組みます。**
 - ① 省エネルギーの推進、化石燃料の利用低減ならびにCO2の削減
 - ② 施主・発注主に対する環境に配慮した施工方法、商品の提案
 - ③ 資材等のグリーン購入
 - ④ 建築副産物の抑制とリサイクルの推進
 - ⑤ 化学物質の適正管理
 - ⑥ 節水への取組・推進
- 3. 環境目標を定め、定期的に達成状況のチェックと、目標値の見直しを行い、継続的改善に努めます。**
- 4. この環境方針、行動指針を全従業員ならびに関連業者に周知し、組織的な環境経営を進めます。**



取り組み① ～節電、節水、ゴミ減量化運動

- ・エコアクション21ポスターの掲示
- ・ペーパーレスシステムの導入
- ・オリジナルウェアの作成 etc...



- 環境関連の法令を正しく理解し、遵守しよう！
- エコドライブ & アイドリングストップ活動を推進しよう！
- リサイクル資材を積極的に活用しよう！
- 省エネ・節水商品をお客様に積極的にご紹介しよう！
- コピー用紙などの無駄をなくそう！
- こまめに水道の蛇口を閉めるなどの節水活動を実践しよう！
- エアコンの設定温度は夏26℃以上、冬22℃以下！
- 席をはずす時は電気製品、照明機器の電源をOFFにしよう！
- 化学物質の適正管理に努めよう！

大切な地球資源を守る「環境経営」を全社を挙げて実践しよう！

大金興業株式会社



2012年度は2009年度比で、電気使用量△13.1%
事業系廃棄物△4.74%、使用水量△5.4%

取り組み② ～産廃ストックヤードの構築

- 2011年1月産廃分別場(ストックヤード)を構築
 - 自社にて工事を実施
 - 東日本大震災の影響で工事業務が大幅に減少する中、分別に取り組み、大幅なコストダウンに成功



産業廃棄物(自社)	2010年度	2011年度
排出量	144.4t	184.4t
処分費(直接経費)	340万円	148万円

対前年
192万円減



取り組み③ ～バイオディーゼル事業

- 2011年7月バイオディーゼル生成装置を導入
 - 食用廃油から「軽油代替燃料」と「業務用洗剤」を製造
 - 廃棄物を有価物として買取回収
 - BDFは弊社車両で使用（一部は販売。95円/L）
 - 導入初年度約1,980L → 本年度見込み30,000L
(約80,000kg-CO₂の削減)



取り組み④ ～省エネ設備提案イベント

- 2012年5月「住まいるフェスタ」開催
 - 省エネ・節水などの住宅設備や建材を展示
 - 体験型の木工作教室などを通して、弊社の取り組みをPR



取り組み⑤ ～太陽光発電事業

- 2013年3月 大金興業ソーラー発電所スタート
 - 自社による設置工事（約2,200万円）
 - 50kW未満の小規模発電所ながら、3/25～6/30で約19,700kWhの発電実績（売電収入約80万円）
 - 年間推計55,000kWh（約30,000kg-CO₂の削減）

いずれの取り組みも、
自社ノウハウをベースにして、
その延長線上で検討・実施。
「無理をせずに取り組む」が
弊社での採否決定要件



取り組んでよかったこと ～自己分析

- コンプライアンスを重視した廃棄物・資源物回収をPRしたことで、大口のお客様との取引が拡大した。
- 自社のノウハウ、自社業務の延長で取り組んだことで、業務に厚みが出た。技術のストックができた。
- 新規事業の足掛かりができた。（BDF事業）
- CO₂の削減だけでなく、経費も節約できた。
- 環境について相談に乗ってくれる方々と知り合いになれた。（個人的メリット）



難しかった点、今後の課題

- 社員の協力を得るための（得続けるための）情報共有。動機づけ。
- BDFの利用について車両メーカーが非協力的（排ガス浄化装置への影響など）
- エコイベントのリニューアル（脱マンネリ）
- 高断熱（低燃費）住宅の技術と情報の収集
- さらなるCO₂低減のための情報収集
- 法令についての情報収集と更新



最後に

- これら取り組みについては環境活動レポートの他、弊社facebookページでも紹介していく予定です。よかったら、「いいね！」をいただけると嬉しいです。（お友達申請もお待ちしております。）



ご清聴ありがとうございました。